

第7回 沖縄県高校生介護技術コンテスト課題 【部門2】

【課題】

上原ハルさん(80歳、女性)は、2年前に脳梗塞を発症後、入院、リハビリを経て、自宅で夫と二人暮らしをしています。高齢の夫の介護負担を減らすため、週5日は訪問介護(11:00~12:30)、月1回はショートステイを利用しています。

上原さんは、昼食、口腔ケア、排泄を終え、現在はリビングのテーブルで車いすに座った状態です。口腔ケアの際に、孫からもらったお気に入りの上着(カーディガン)を汚してしまい、少し悲しそうな表情をしています。午前中に行ったケアマネジャーとの面談の疲れもあり、上原さんから「上着を脱いでベッドで休みたい」と訴えがありました。

介護者(訪問介護員)は上原さんを寝室へ誘導し、上着を脱がせた後、ベッドで臥床していただくまでの支援を行ってください。

※脱いだ衣服は頭側にあるワゴンのかごに入れてください。

※利用者の返事は、うなずく、首を振る、指をさすのみです。

※基本的な感染症対策を行ってください。

【利用者情報】

○心身の状況

- ・要介護3
- ・障害高齢者の日常生活自立度:ランクB1
- ・認知症高齢者の日常生活自立度:Ⅱa
- ・脳梗塞の後遺症による右半身麻痺。(利き手は右手、1年前に利き手交換の訓練実施)
- ・脳梗塞の後遺症により軽度の失語症。言葉が聞き取りにくい面はあるものの、意思疎通は可能。
- ・歩行はできないものの、車椅子に乗れば一人でゆっくり移動が可能。
- ・立ち上がり時にふらつくことがあり、立位保持は難しい。立ち上がり時、足首のぐらつきを保護するため外出時は短下肢装具を着用。自宅内では着用無し。移乗は一部介助が必要。
- ・排せつ、更衣は一部介助が必要。
- ・視力・聴力とも80歳の平均的な状態。眼鏡や補聴器の使用なし。
- ・逆流性食道炎の症状が見られるが、服薬などの治療は行っていない。

○生活状況

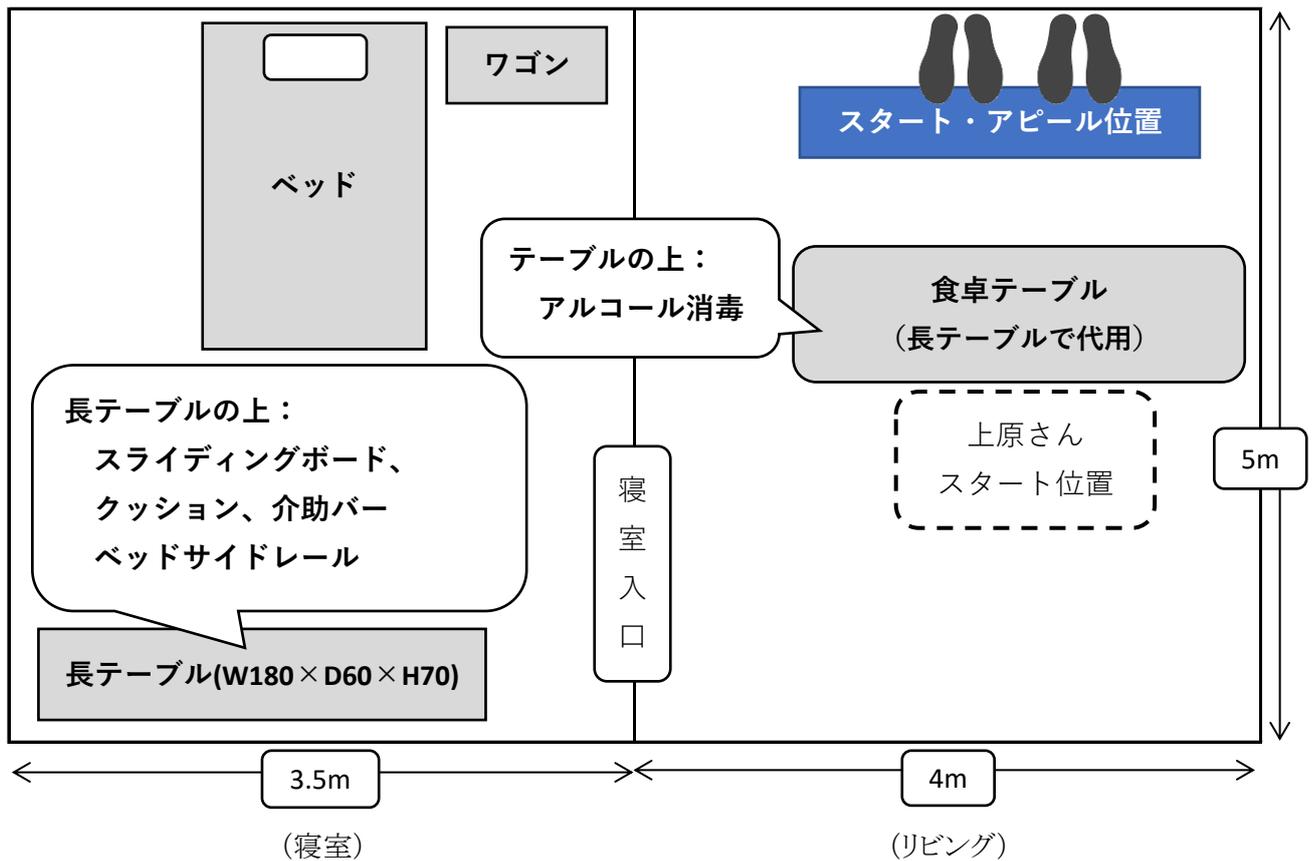
- ・夫は訪問介護員がいる時間帯を活用し、買い物や畑仕事を行っている。
- ・お金の管理や食事の準備などは一人では行えない。
- ・できることは自分でやりたいという思いがある。
- ・主に夫が介護を行っており、移乗はスライディングボードを活用することがある。
- ・近所に住む次男と長女が交替で毎日訪れ、生活のサポートをしている。
- ・高校生の孫(長女の子)が遊びに来てくれることを楽しみにしている。
- ・次女は他県、長男は車で1時間程度の他市町村に住んでいる。

○生活歴

上原さんは5名兄弟の長女として出生。両親の仕事の手伝いや兄弟姉妹の世話をよく行っており、働き者・面倒見の良さは近所でも評判であった。親戚のすすめで20歳の時、自営業を営む3歳上の夫と結婚し、2男2女をもうけた。60歳を超えるころには子どもたちは皆独立・結婚したため、夫の自営業を手伝いながら、近所のスーパーで週3日、パートとして働いていた。

趣味は踊りや民謡で、長年、地区の婦人部としてさまざまな地域行事に参加していた。同地区には友人も多い。料理も得意で、子どもたち家族が遊びに来たときには手作り料理を振る舞い、一緒に食事することを楽しみにしていた。

【競技会場レイアウト】



【使用可能な物品】※必要と思われる物品を使用してください。

- ① 電動ベッドキャスター付(3モータータイプ、マットレス含む)
- ② ベッドサイドレール
- ③ 介助バー
- ④ 枕・枕カバー・シーツ類・タオルケット(ベッド上にあります)
- ⑤ 跳ね上げ式車いす
- ⑥ スライディングボード
- ⑦ キャスター付きワゴン
- ⑧ クッション(枕で代用)
- ⑨ 手指消毒用アルコール
- ⑩ カーディガン(利用者が着用しています)

【その他】

介護者役はフェイスシールドを着用します。フェイスシールドは、運営側が用意し、当日配布します。

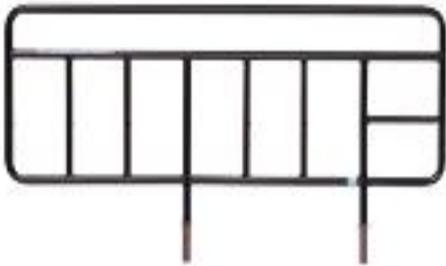
第7回 沖縄県高校生介護技術コンテスト 部門2 使用可能な物品

電動ベッドキャスター付 (3モータータイプ) 電動NXシリーズ SEAHONENCE



ベッドサイドレール：K170R 093243

キャスター付きワゴン



介助バー：シーホネンス株式会社 K47R/L

クッション (枕で代用)



跳ね上げ式車いす：松永製作所 アルミARシリーズ

スライディングボード：イージーモーションSタイプ



カーディガン (利用者が着用しています) :Lサイズ・スナップボタン

手指消毒用アルコール

